

## 皇紀二六七九年

奉祝 天皇陛下御即位  
奉祝 令和

二百二年振りの御譲位により「平成」から「令和」へと新時代を迎えました。  
皇室の弥栄(いやさか、繁栄)を心より祈念致します。

元号は、「大化」以来約千二百年、天皇の宣命(せんみ)よう、天皇の御命令を記した文書)により定められて来ました。

天皇御即位の時、おめでたい出来事があった時、又は天災や疫病等、凶事を払いたい時、大御宝(おおみたから、国民)を思う大御心(おおみこころ、民を思う無私の心)により平和と国民の安寧、凶事からの復興をお祈り下さり定められて来ました。

明治以降は、近代国家建設にあたり一世一元号の定めとなり、

天皇の勅定(ちよくじ)よう、天皇自ら定めたもの、みことのり)により定められました。(明治・大正・昭和)「平成」、「令和」は現行憲法と元号法に則り、政令(内閣が定めた命令)で定めたものを  
天皇に上奏し、

御名御璽(ぎよめいぎよじ)、天皇の署名押印)を戴き公布、施行されました。選ばれた有識者も内閣も歴史と伝統を背負い、国家を代表し素晴らしい元号となりました。

### しかし、何故政令で

### 定めるのでしょうか。

それは、戦後六年八カ月、日本を占領統治下に置き、国際法を無視して米国GHQが起草し押し付けた現行憲法二〇条「政教分離」との整合性を鑑み元号法が定められ、政令によつて定められたのです。

では、「政教分離」とは一体何なのでしょうか。それは、国家と教会を分離して、信教の自由を担保する制度的保障の原則であり、その解釈

はその国の歴史、伝統により様々なものなのです。米国では、政教分離を成文化していますが、例えば大統領の就任式では、聖書に手を置き宣誓します。これを伝統と言っています。英国では、イングランド国教会があり学校でも教えていますが、政教分離国です。

日本の二千六百七十九年の歴史と伝統を尊重すれば、政教分離の解釈は容易に変更出来るのではないのでしょうか。

此の度の御譲位に政府は「退位」という造語を用いたのも、陛下の御意志で「皇位を譲る」ことが政教分離の原則に抵触すると考えたからです。

大化以来、約千四百年続く元号は、国民の生活に浸透した伝統文化です。政教分離の解釈を日本の国体(国柄)が反映したものにすることを「戦後レジーム(体制)」からの脱却の真髄であると考えます。国民の皆様が認められる事を願います。